



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 英和株式会社 上場取引所 東
コード番号 9857 URL <https://www.eiwa-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 吉典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 玉置 崇久 (TEL) 06-6539-4801
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 30,322 | 10.9 | 1,579 | 75.8 | 1,655 | 73.4 | 1,098 | 78.2 |
| 2023年3月期第3四半期 | 27,342 | 8.3 | 898 | 19.1 | 954 | 20.2 | 616 | 22.2 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,208百万円(89.8%) 2023年3月期第3四半期 636百万円(21.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2024年3月期第3四半期 | 円 銭 173.54 | 円 銭 — |
| 2023年3月期第3四半期 | 97.36 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 2024年3月期第3四半期 | 百万円 29,812 | 百万円 14,811 | % 49.7 |
| 2023年3月期 | 31,606 | 13,969 | 44.2 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 14,811百万円 2023年3月期 13,969百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 10.00 | 円 銭 — | 円 銭 43.00 | 円 銭 53.00 |
| 2024年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 50.00 | 65.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 42,000 | 1.7 | 2,250 | 18.8 | 2,320 | 17.2 | 1,530 | 15.8 | 241.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期3Q | 6,470,000株 | 2023年3月期 | 6,470,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 141,211株 | 2023年3月期 | 141,211株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期3Q | 6,328,789株 | 2023年3月期3Q | 6,328,793株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| 3. 補足情報 | 8 |
| 販売実績 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調を維持しましたが、グローバルでの地政学的リスクやインフレに伴う金融引き締め等による景気減速リスクは依然として高く、日本国内においても、円安の進行や原材料価格の高止まりが懸念材料になる等、先行き不透明な経営環境が続いております。

当社グループの主要販売業界であります化学業界、鉄鋼業界等におきましては、自動車や建設向けの需要は回復していますが、半導体関連の回復の遅れに加え、中国をはじめとする海外需要の鈍化に伴い、関連する素材の生産量は伸び悩みました。一方、労働人口の減少を背景に工程遅延や製造労務費が上昇する中、生産性向上を目的としたデジタル関連投資、脱炭素化社会の実現に向けた環境に対応する投資や新素材の開発投資の他、社会インフラ市場においては、インフラ設備の維持・管理、国土強靱化や防災・減災対策等の実施に向け検討が進められております。

このような状況下、当社グループにおきましては、2023年4月より新中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、経営基本方針「持続可能な成長に向けた5Sの強化」のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向け、多様化する顧客ニーズに対応した強固な経営基盤作りを推し進めてまいりました。具体的には、重点戦略である既存顧客への深耕開発と成長ビジネスへの注力を掲げ、デジタルトランスフォーメーション(DX)、グリーントランスフォーメーション(GX)、社会資本整備の3分野をテーマに、全国展開した営業拠点網を最大限に活用しながら、経営計画の推進に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、商品の長納期化が改善され、積み上がった受注残を着実に売上へ転化したことに加え、設備稼働率の上昇に伴い、造船業界、産業用装置・重電設備業界、製造用機械・電気機器業界向けの販売が増加した他、老朽化した設備の更新需要や環境対策を推進する投資需要を取込み鉄鋼業界や電力・ガス業界向けの販売が堅調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は303億22百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。また、顧客の課題を解決するコト売りをはじめとする高付加価値営業の強化に取り組んだことにより、収益性が向上し、売上総利益52億15百万円（同17.6%増）、営業利益15億79百万円（同75.8%増）、経常利益16億55百万円（同73.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億98百万円（同78.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17億93百万円減少し、298億12百万円となりました。これは棚卸資産が7億59百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が25億80百万円減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26億35百万円減少し、150億円となりました。これは支払手形及び買掛金が23億31百万円減少したことが主な要因であります。

純資産は、利益剰余金の配当による減少が3億67百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が10億98百万円であること等により、前連結会計年度末に比べ8億41百万円増加し、148億11百万円となりました。その結果、自己資本比率は49.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、2023年9月21日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,487,589 | 6,375,410 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 16,249,728 | 13,669,345 |
| 電子記録債権 | 2,553,360 | 2,862,068 |
| 棚卸資産 | 1,966,069 | 2,725,374 |
| その他 | 329,741 | 208,671 |
| 貸倒引当金 | △1,774 | △1,579 |
| 流動資産合計 | 27,584,715 | 25,839,291 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,549,677 | 1,519,481 |
| 無形固定資産 | 129,211 | 107,256 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,389,613 | 2,393,365 |
| 貸倒引当金 | △47,099 | △47,099 |
| 投資その他の資産合計 | 2,342,513 | 2,346,265 |
| 固定資産合計 | 4,021,401 | 3,973,003 |
| 資産合計 | 31,606,117 | 29,812,294 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,804,811 | 5,473,682 |
| 電子記録債務 | 6,358,542 | 6,829,401 |
| 短期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 126,664 | 226,664 |
| 未払法人税等 | 476,897 | 58,164 |
| 賞与引当金 | 561,434 | 229,847 |
| 役員賞与引当金 | 56,310 | 34,650 |
| その他 | 1,372,701 | 1,481,845 |
| 流動負債合計 | 16,907,361 | 14,484,256 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 463,338 | 268,340 |
| 退職給付に係る負債 | 124,664 | 102,672 |
| その他 | 140,950 | 145,468 |
| 固定負債合計 | 728,953 | 516,481 |
| 負債合計 | 17,636,314 | 15,000,737 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,533,400 | 1,533,400 |
| 資本剰余金 | 1,567,550 | 1,567,550 |
| 利益剰余金 | 10,478,971 | 11,210,195 |
| 自己株式 | △51,152 | △51,152 |
| 株主資本合計 | 13,528,768 | 14,259,992 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 196,550 | 307,567 |
| 為替換算調整勘定 | 38,418 | 57,183 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 206,064 | 186,813 |
| その他の包括利益累計額合計 | 441,033 | 551,564 |
| 純資産合計 | 13,969,802 | 14,811,557 |
| 負債純資産合計 | 31,606,117 | 29,812,294 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 27,342,353 | 30,322,064 |
| 売上原価 | 22,908,047 | 25,106,705 |
| 売上総利益 | 4,434,305 | 5,215,359 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,535,756 | 3,635,491 |
| 営業利益 | 898,549 | 1,579,867 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,797 | 1,733 |
| 受取配当金 | 17,385 | 21,111 |
| 仕入割引 | 10,825 | 10,291 |
| 保険戻戻金 | 31,999 | 39,293 |
| 為替差益 | 2,418 | 1,853 |
| その他 | 10,428 | 7,802 |
| 営業外収益合計 | 74,854 | 82,084 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,646 | 2,072 |
| 支払保証料 | 6,051 | 4,256 |
| 固定資産除却損 | 9,819 | — |
| その他 | 69 | 4 |
| 営業外費用合計 | 18,586 | 6,333 |
| 経常利益 | 954,817 | 1,655,619 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 9,517 | — |
| 特別利益合計 | 9,517 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 964,334 | 1,655,619 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 238,524 | 384,463 |
| 法人税等調整額 | 109,639 | 172,861 |
| 法人税等合計 | 348,164 | 557,325 |
| 四半期純利益 | 616,169 | 1,098,293 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 616,169 | 1,098,293 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 616,169 | 1,098,293 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,991 | 111,016 |
| 為替換算調整勘定 | 27,247 | 18,764 |
| 退職給付に係る調整額 | △15,421 | △19,250 |
| その他の包括利益合計 | 20,817 | 110,530 |
| 四半期包括利益 | 636,986 | 1,208,824 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 636,986 | 1,208,824 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似していること等から判断して、当社グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

| 品目別 | 売上高 (千円) | | | |
|-----------|-------------------|-------------------|--------------------|------------|
| | 2023年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 第3四半期 | 対前年同四半期 増減率 (%) | 構成比 (%) |
| 工業用計測制御機器 | 13,445,422 | 15,000,326 | 11.6 | 49.5 |
| 環境計測・分析機器 | 2,387,577 | 2,780,368 | 16.5 | 9.2 |
| 測定・検査機器 | 1,161,232 | 1,030,113 | △11.3 | 3.4 |
| 産業機械 | 10,348,121 | 11,511,255 | 11.2 | 37.9 |
| 合計 | 27,342,353 | 30,322,064 | 10.9 | 100.0 |

(工業用計測制御機器)

稼働率が高い製造用機械・電気機器、造船業界向けに各種センサーや情報通信機器の販売が伸長しました。また、生産設備の安定稼働や生産性向上を目的とした投資需要や老朽化した設備の更新需要を取込み、産業用装置・重電設備、建設・プラント、鉄鋼業界向けに各種プロセス計測制御機器や各種遠隔監視システムの販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。

(環境計測・分析機器)

社会インフラ市場向け各種分析計の販売が堅調に推移した他、老朽化した設備の更新需要や地球環境に対する課題意識の高まりを受け環境保全・規制に関連する測定需要を取込み、化学、鉄鋼、建設・プラント、造船業界向けに水質計、大気分析計等の販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。

(測定・検査機器)

製品の品質や性能の向上を目的とした非破壊検査機器、生産設備の安定稼働につながる各種検査機器の投資需要を取込み、鉄鋼、建設・プラント業界向けの販売は増加しましたが、化学業界向け大型検査機器の販売が一巡し、全体では減少しました。

(産業機械)

シャーシの供給不足の影響を受け、防災・復旧、国土強靱化に関連する特殊車両の受注は減少しました。一方、電力業界において安全の向上を目的とした大型案件の販売があった他、設備稼働率の上昇に伴い造船、製造用機械・電気機器業界向けに油圧機器やバルブの販売が増加しました。また、脱炭素化社会の実現に向け注目されている水電解やメタネーション技術の研究に使用される各種評価装置やJARI標準セルの販売も堅調に推移したことにより、販売が増加しました。